

第51回全国中学校ハンドボール大会

試合結果・戦評報告

競技日	令和4年8月19日(金)	試合番号	C6	回戦	1回戦
種別	中学生	会場	函館アリーナ サブアリーナ Cコート		

Aチーム			Bチーム		
宇土市立鶴城中学校(熊本)			守谷市立けやき台中学校(茨城)		
得点合計	小計		小計	得点合計	
37	20	前半	6	17	
	17	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7 m T C			

戦評

両チーム0-6のディフェンスでスタート。立ち上がり、ペースを掴んだのは鶴城、カットイン、パスカットからの速攻、ピボットのシュートにより3連続得点を奪う。対するけやき台はフローター6番センター10番を中心に攻撃を展開し、鶴城の退場を誘い、点数に結びつける。鶴城は14番のサイドシュートによる連続得点。前半11分、7-4鶴城のリードで試合は進む。けやき台は6番センターを中心にセットオフENSEを組み立てるも、鶴城の連携したディフェンスに阻まれる展開が続く。その間、鶴城はカットイン、サイド、速攻、ステップシュートなど多彩な攻撃で点差を開き、前半18分で12-5で鶴城がリード。さらに、けやき台の退場を契機に、鶴城は9番が躍動。速攻やサイドシュートにより連続6点を奪いリードを広げ、20-6鶴城リードで前半を終了する。

後半、鶴城はディフェンスの足がよく動く。積極的なコンタクトにより、けやき台の攻撃のリズムを狂わせる。攻撃では、ロングシュート、速攻により得点を重ねる。一方、けやき台は10番のロング、6番のステップシュート、15番のポストプレイで食らいつく。

後半12分時点で28-12と鶴城がリード。けやき台は攻撃の幅を広げ、サイドへの展開により得点する。一方、鶴城は2番のロングや速攻などで攻撃の手を緩めない。最後まで全力プレイのけやき台。20分6番が気迫あるカットインでチームを鼓舞する。

結果、最後まで堅守と速攻を中心に多彩な攻撃を見せた鶴城が37-17で勝利した。

記載者名

溝口 仁志